

〈特集〉

多くの人に選ばれるまち おかや

おかやの魅力、再発見。

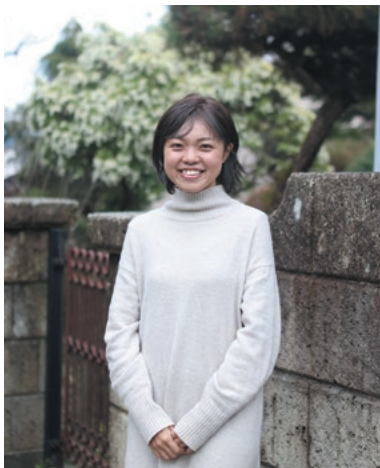
住む^{ところ}処を変える、仕事を変える、ご近所付き合いを変える、いつものスーパーマーケットを変える、かかりつけのお医者さんを変える…

ひとくちに「移住」と言っても、踏み切るまでにはさまざまなハードルがあります。これら乗り越え、岡谷を選び、移り住んだ6組のみなさんを紹介します。

移り住んだ人と地元の人と交ざり合い、緩やかなつながりをもてるまちになることで、岡谷はさらに輝ける。たくさんの人を迎えたいと考えています。

何気ない日常が、
かけがえのない日々に。

帰れる場所、シェアハウスで人をつなぐ。



宍戸 あゆみさん

福島県出身。2022年金沢市から移住。JICA海外協力隊としてネパールで環境教育に携わる。帰国後みもぎシェアハウスを開業準備中。



● **海外協力隊の赴任先からコロナ禍により帰国を余儀なくされたんですが、このとき自分は実家に帰ることができましたが、隊員の中には知人の家に身を寄せるなど、安定した居住環境が得られない**

● **シェアハウスを始めたきっかけは？**
海外協力隊の赴任先からコロナ禍により帰国を余儀なくされたんですが、このとき自分は実家に帰ることができましたが、隊員の中には知人の家に身を寄せるなど、安定した居住環境が得られない

● **岡谷市に決めた理由は？**
元海外協力隊の先輩の紹介でこの家を借りたのがそもそもの理由なんです。実家も山に囲まれていて、各地で居住しているなかで、改めて自分は山が好きなのことがわかりました。海外協力隊で活動していたネパールのポカラという町にも湖があって、山と湖がある美しい景色に縁があるのかもしれない。

● **これから岡谷市でやりたいことは？**
地域創生に興味があり、前職の経験を活かし、人と人をつなげるようなイベントに関わっていかれたらと思います。

● **移住の背景**
海外協力隊として活動していた宍戸さんですが、コロナ禍により帰国。縁あって岡谷市に移住し、シェアハウスを運営するという新しいチャレンジを始めました。空き家だった物件を自らDIYし、オープンに向けて準備をしています。

● **岡谷市に暮らしての印象は？**
優しい人が多いと感じています。自動車の運転では道を譲ってくれたり、近所の方も「困ったことがあったら連絡して」と優しい声がけをしてくれ、人の温かさを感じています。



みもぎシェアハウスの玄関先で

理想の土地との出会い。岡谷で独立。

■ 商業等振興補助金利用

移住の背景

● **諏訪市で同じく美容院を営むご両親に、独立した姿を見てもらいたいという理由から、東京から諏訪地域に戻ることを決めた坂本さん。先を見る力と分析力で、商業的に理想の土地を岡谷市内に見つけ、コロナ禍に開業。技術力、人柄に加え、ショッピングモールへの人の流れやSNSも相まって順調に顧客の心をつかみ、人気のお店となっています。**

● **この土地と出会った状況は？**
土地に対して、商売をしていくうえで、いくつかの自分なりの条件があって、岡谷市には土地勘はなかったんですが3日間自分の車で走って、条件にぴったりあった今の土地を偶然見つけ、1週間で決断しました。

● **諏訪地域の中でも、岡谷市にしてよかった点は？**
大きなショッピングモールがあるので、生活に不便を感じないこと、人が集まる流れがあるところでしょうか。



坂本 優太さん・友理さん

東京都から2021年移住。20年間的美容師経験を活かし地元諏訪地域で独立。美容師で北海道出身の友理さんと美容院を営む。



ナチュラルで明るい店内のようす

● **岡谷市の好きな場所は？**
諏訪湖越しに八ヶ岳が一番きれいに見えるのが岡谷市側からだと思うので、湖畔の公園が好きですね。(優太さん)
「こどものくに」の親子のイベントによく行き、助かっています。(友理さん)

● **これから岡谷市でやりたいことは？**
岡谷市から見える諏訪湖の風景や、温泉を活かした飲食店のようなことができたらいいなと思っています。まだ先の話ですけどね。

子育てが強いミカタ。地区のサークルが



武井 彩乃さん
2018年結婚を機に愛知県から長野県へ移住。岡谷市の新居に6月に引越し予定。イラストレーターとしてイベントで活動中。



移住の背景

山好き同士として知り合ったご主人と結婚して愛知県から長野県へ移住した武井さん。6月には市内に新居が完成し岡谷市民へ。現在は市外在住ですが、義母の勧めで、2歳半の息子さんと地区の子育て支援サークルに毎月参加し、たびたび岡谷を訪れています。

●岡谷市の印象は？

空気がおいしく、景色が良いというのが第一印象ですね。毎月、地区の子育てサークルに参加させてもらっているのですが、同世代のお母さんだけでなく、おばあちゃんくらいの幅広い年代の人ともふれあえ、子育ての悩みを相談したり、子育てを通じて人とつながることができているのがとてもいいと思います。他の地域ではあまりないんじゃないでしょうか。

●岡谷市での好きな場所は？

古くからある懐かしい雰囲気のご飯屋さんが好きでよく行きます。ずっと愛されてきた、間違いない感じがいいですね。



こんな感じで似顔絵を描いています



それと、イルフ童画館は大人も子どもも楽しめる好きな場所です。「ねずみくんのチョコキ展」に行ったときは、息子はネズミが大好きなのですごく喜んでいました。

●休日の過ごし方は？

普段は、やまびこ公園に行ったり、八ヶ岳まで子どもを連れて登山に出かけることもあります。

●これから岡谷市でやりたいことは？

イラストを描いているんですが、まだ市内でのイベントに参加することがないので、市内でイベント出店できる機会を作ったり、岡谷市を盛り上げていくお手伝いができたらいいなと思っています。

移住の背景

ご主人のルーカスさんがマウンテンバイクを始めたことをきっかけに、マウンテンバイクを楽しめる県として知られる長野県に興味を持った、イエシカさんご夫妻。そのなかでも県を中心に位置し、県内のアクセスがよい岡谷市を移住先に選びました。ご夫妻ともリモートでできる職業のため、転職の必要がなく、岡谷市での生活を楽しんでいます。

●岡谷市のいいところは？

移住の理由に、人が多いところからちょっと離れて気分転換したいということもあったので、自然が豊かで空気がきれいなところに惹かれています。部屋探して来たときに、諏訪湖の景色を見て、いいなと思いました。(ルーカスさん)

●暮らしてみたいの印象は？

芸術に興味があるので、芸術や伝統的な博物館や美術館が多いのがうれしいです。蚕糸博物館には行きましたが他の所もこれから行ってみたいです。(めぐみさん)

●休日の過ごし方



湖畔を散歩することも

富士見までマウンテンバイクを乗りに行ったり、やまびこ公園や諏訪湖の周りを散歩したりしています。買い物もショッピングモールがあるので便利です。この地域にしかない飲食店も好きで、よく行きます。

●これからやってみたいことは？

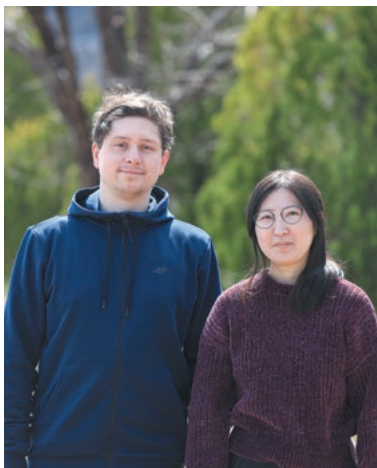
車を買ったので、キャンプなどのアウトドアなどを楽しみたいです。まだ食べていない、うなぎも食べてみたいです。

●今後の生活は？

今後も、ずっと岡谷市に住みたいと思っています。

リモートで仕事。趣味の世界を広げる移住。

■就業・創業移住補助金利用



イエシカ ルーカスさん・めぐみさん
千葉県から2022年移住。それぞれ、3Dデザイナー・イラストレーターとしてリモートで仕事をこなす。



旅で出会った、 新しい 帰る場所。



風間 真吾さん・美緒さん

埼玉県・東京都出身。鍼灸師・
ヒプノセラピスト。2022年市
内に移住し、鍼灸整体治療院・
心のセラピーサロンを開業。



移住の背景

ともに首都圏出身の風間さんご夫妻は、東京での「めいっぱい生活」から「きちんとした暮らし」を求めて沖縄県に移住し、鍼灸院と心のセラピーサロンを二人で営みながら13年半暮らしました。風間のルーツを求めて出た長野県への旅行中に、偶然立ち寄った諏訪湖の景色が心に響き、「新しい帰る場所」として岡谷市に移住して、鍼灸院と心のセラピーサロンを開き、二人で新しい生活をスタートさせています。

● 沖縄県から岡谷市に移住した理由は？
沖縄では13年半暮らし、仕事も順調で不満はなかったんですが、旅行で諏訪湖の景色に出会い、「ここに住みたい！」と直感的に感じたのと、文化や歴史の風情がまちに残っているところに惹かれて、「新しい帰る場所」として岡谷市に住むことを決めました。



リラックスできる雰囲気のお店内

部の道を歩きたいくらいなんです、小道を歩きながら地形を味わったり、蔵や古い石垣を見るのが好きで、中でも間下十五社や、塩嶺小鳥の森によく行きます。

● 岡谷市の印象は？
人が明るくて優しいという印象です。ご近所の方や出会った方々が気さくに話しかけてくれるのがうれしいです。

● これから岡谷市でやりたいことは？
たくさんの人とふれあう機会を増やして、心とつながっている鍼灸の良さを多くの人に知っていただきたいです。

大学と提携。 市営住宅で 学生生活を。

■ 大学提携市営住宅利用



瀬在 乙葉さん

愛知県から2022年移住
大学2年生。市営住宅から近郊の大学へ通う。レポートなど自宅学習に図書館を使うことも。ものづくりに興味があります。

移住の背景

● 両親の勧めで、大学と提携している市内の市営住宅から大学へ通っている瀬在さん。管理人さんがいるので、ご両親も安心。ものづくりに興味があり、目的を持って、日々学習に取り組んでいます。

● 岡谷市の印象は？

諏訪湖の景色がきれいだと思います。特に朝早く学校に行くときに見る諏訪湖は霧がかかっていたり、めちゃくちゃきれいで癒されます。

● 休日の過ごし方

あまり出かけないで家にいることも多いですけれど、映画に行ったりします。歩いて映画館に行けるのはいいですね。

● 岡谷市に住んでの感想は？

学校へは少し遠いですが、そのぶん通学で通る諏訪地域全体に関心を持てるので、岡谷に住んでよかったです。

● これから岡谷市でやりたいことは？

地域おこしに興味があるので、そういったイベントに関わりたいいなと



岡谷図書館で勉強しています

● 未来、商品開発に携わりたいと思っています。いろいろな人のニーズに応えられるような力が養われればと思います。

● それと、まだ専門分野は定まっていませんが、ものづくりに興味があります。岡谷市は工業のまちと聞いているので、テクノプラザおかやでのイベントや、今年、岡谷市で開催される工業メッセも楽しみにしています。

よはくたび はらへりーずのYohakutabi

岡

谷市の自然と文化から生まれる、ゆったりとした時間を

「Yohakutabi (よはくたび)」と称して、都心から年に数回足を運んでくれる20代の若者たちがいます。「よはくたび」とは単なる旅行ではなく、将来の生き方や働き方に悩む20代の若者たちが、日常から離れた環境で、地方で暮らす人や自然・文化にふれることを通して、自分と向き合い深く見つめ直すことで、本来の自分を取り戻すことを目的とした「心の旅」です。

企

入社5年目の同期4人、名付けて「はらへりーず」。岡谷市がこの旅の舞台に選ばれたのは、偶然が重なったご縁からですが、岡谷で出会った人たちが彼らと同じ視線で岡谷のいいところを探し、人と人とを真剣につないだことで絆が深まり、もっと岡谷と関わりたいという思いが生まれたことから、今も関係が続いています。今年も新たな仲間とともに岡谷を訪れ、「心の旅」を続けています。

求めらるる場所との「絆」
若者らとの「絆」



はらへりーずの昨年と今年の「よはくたび」より



移 り住んだ人や、定期的に訪れる人たちのたくさんの笑顔から、豊かな自然と、受け継がれてきた文化が溶け合う岡谷市の日常が、どれほど魅力的なものなのかを再認識させられます。

都 会では味わえない、土にふれる体験から「自然」を感じ、夢中になって手を動かすことで、「伝統」を継承している「文化」にふれ、そうするなかで気づけば温かい岡谷の「人」に囲まれて、岡谷での時間を過ごしていた、と語る若者たち。岡谷を愛する地元の人たちとふれあい、ワクワクとイキイキがあふれた目〴〵をした人にたくさん出会えたといいます。今までは遠い存在だった「移住」という言葉を身近に感じるようになったという人もいました。

こ れからも、このように、岡谷市との「絆」を深める人が増えていくことは、岡谷市の未来につながっていきます。岡谷市に暮らす者として、ともに「岡谷の魅力」を広げていきましょう。

たくさんの人を迎えるために…

多くの人から岡谷市に興味を持ってもらうため、市では「移住相談会」や「移住・定住」に関する情報発信をはじめ、岡谷市での新しい生活を応援するさまざまな取り組みを進めています。

移住・定住ポータルサイト

岡谷市 移住・定住ポータルサイト「岡谷に住む」



発信



オンライン移住相談会

相談

具体的な検討をしている人から漠然と地方移住を考えている人まで、素朴な疑問や心配ごとなどにお答えします。

開催日時

6月/8月/10月：第3土曜日

13:00～/14:00～/15:00～

7月/9月/11月：第4金曜日

18:00～/19:00～/20:00～

事前申し込み制・相談時間：50分間

申込み

開催日の3日前までに申し込みフォーム(5月公開)からお申し込みください。



詳しくは▲

3つのハテナの

住環境

子育て

仕事

①～⑧の情報をワンストップでゲット!

- ① 岡谷の魅力
- ② イベント情報
- ③ 子育て・教育
- ④ 市長からのメッセージ
- ⑤ 移住者Voice
- ⑥ 移住に関する窓口
- ⑦ 移住までの流れ
- ⑧ 移住支援

地域おこし協力隊になりませんか?



募集

- 募集人員 1名
- 活動期間 令和5年7月1日～
- 応募条件
 - ・令和5年4月1日現在 22歳～49歳であること
 - ・3大都市圏または政令指定都市等に住民登録していること 他
- 応募締切 令和5年5月31日
- 業務内容 移住促進に向けたシティープロモーション

SNSによる情報発信(施策情報、市の魅力、自らの岡谷暮らしや日常、移住者・若者・女性の暮らしのようす) 移住情報サイトの充実、シティープロモーション展示、移住イベントでのシティープロモーション 他

■問合せ：地域創生推進課：内線1361

移住を応援！補助金制度があります。



応援

※新生活に関する補助金は広報おかや4月号に掲載されています。

① 若者移住者住まいの支援補助金

市内に移住する人の住宅取得費の一部を補助します。



② 就業・創業移住補助金

首都圏等から移住した際に最大100万円を補助します。

1

③ 岡谷の魅力体験補助金

④ ワークेशन補助金

移住の準備活動やワークेशनを実施する際の交通費や宿泊費などを補助します。



2-3

⑤ 移住体験住宅

住居探しや仕事探し生活体験などで移住体験住宅が利用できます。
家賃：1か月80,000円(光熱水費込)
家賃補助：夫婦とも39歳以下の場合には上限40,000円を補助します。



4

⑥ 空き家バンク 移住・田舎ぐらし応援補助金

市内に移住する人が、空き家バンクに登録された空き家を購入した際の改修費の一部などを補助します。



6